

昌壽院 おてらだより

曹洞宗 昌壽院
〒621-0814
亀岡市三宅町 95
TEL 0771-22-2350
<https://shojuin.jp>



ご本尊 阿弥陀如来（中央）・観音菩薩（向かって右）・勢至菩薩（向かって左） 京都府暫定登録文化財

初春のお喜びを 申し上げます

檀信徒の皆さまにおかれましては
清々しい新年をお迎えのことと存
じます。

旧年中はお寺に対し様々な
お力添えをいただき心より感謝
申し上げます。

年始にあたり皆様のご多幸と
ご健康をお祈り申し上げます。

昌壽院

住職 大井龍樹 合掌

東堂 大井美樹 合掌



辰

滋賀県 安曇川在住
足達泰子さん 作



「幸せ感度」を上げて

正月といえば、お餅やお節料理ですね。お節料理はその年の豊穡と幸福を願い、様々な具材が織り交ぜられています。一品一品に意味があり、伝統や文化が詰まっています。昔と違い、今では様々な美味しい食べ物があり、お節料理が必ずしも「ごちそう」ではないかもしれません。良き文化としてこれを引き継いでいきたいと思えます。

テレビでは、グルメ番組が人気です。芸能人やアナウンサーが絶妙な表現で食べ物の美味しさを伝え、視聴者の胃袋を刺激します。中には名人芸と言えりような「食レポ」を行う人もいて、その繊細な味覚と表現に感心させられます。しかし、実際に同じ商品や料理を味わってみると、思ったほどの美味しさを感じないことも多いものです。食レポを行う時は、その人の「美味しいセンサー」の感度が最高に高まっているのですね。良いところを見つけ出す意識が強まり、いつもなら見逃してしまうような美味しさに気づくでしょう。

暮らしの中でも、「幸せセンサー」の感度を高め、小さな喜びや良いところを見つけ出せば、より豊かな毎日となることでしょう。日常は同じようなことの繰り返しですが、「食レポ」するように、日々を味わってはいかががでしょうか。

小さな喜びを大切に、その中から得る幸せを大きく喜ぶことで、日々の味わいも変わってきます。時には、「苦味」さえもアクセントになるはず。

新しい年が、皆様にとって素晴らしい出会いと喜びに満ちたものとなりますようお祈り申し上げます。合掌

地蔵盆 大数珠繰り

昨年八月二十三日に恒例の地蔵盆を行いました。本堂と境内に盆提灯を飾り、夕方からロウソクを灯しました。日中は、強風と急な雨で提灯を本堂に移動させたりと大変でしたが、夜の闇の提灯の明かりはなんとも風情があります。午後七時から読経とご詠歌奉詠を行い、檀信徒各家の子孫長久・家庭円満を祈願しました。

一昨年、お寺に長年眠っていた大数珠を修繕したので、それを使い、数珠繰りを行いました。輪になり、お経を唱えて数珠を送っていく。大玉が自分のところに来たら、「アン」といただき念じます。皆で輪になって行くと一体感が生まれました。すこし先ですが、今夏も行う予定ですので、またお参りください。



ご詠歌の奉納と大数珠くり。昨年は酷暑の夏でしたが、コロナも収まり久しぶりに再開できました。

本年は

「太祖常済大師瑩山紹瑾禅師 七百回大遠忌」の年です



横浜市鶴見にある總持寺。本堂にあたる大祖堂は千畳敷の広さがあります。

私たちは宗派は「曹洞宗」です。福井県の永平寺と神奈川県の總持寺がご本山です。二ヶ寺とも同格の大本山で両大本山と言います。今年、總持寺を開かれた瑩山禅師の七百回忌にあたります。ご本山には全国のお檀家や寺院が法要に集まります。また、各地においても法要が行われます。

京都府第三教区の法要会場は昌寿院の予定です。護持会・梅花講の皆さんを中心に、皆様もお参りいただければと思います。

実にこの世においては 怨みに報いるに 怨みをもったならば ついに怨みの止むことはない 怨みを捨ててこそ止む
これは永遠の真理である —— お釈迦さまの言葉

昌寿院 令和六年

年回表・法事一覧

令和六年の法事・年回は次の通りです。本堂に今年の法事の一覧（繰り出し表）を掲示しています。

お寺からもご法事のお知らせをしておりますが、皆様もご法事にあたっていないかご先祖さまのご命日を確認してください。

年回名	(没年)
一周忌	(令和五年)
三回忌	(令和四年)
七回忌	(平成三十年)
十三回忌	(平成二十四年)
十七回忌	(平成二十年)
二十五回忌	(平成十二年)
三十三回忌	(平成四年)
五十回忌	(昭和五十年)



『梅花ご詠歌の会』

毎月第2木曜日(午後1時半〜午後3時半)にお稽古をしています。
新しい仲間募集中です！

